

令和5年度 第2回

丹波市地域公共交通活性化協議会  
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覧用

1 開催日時 令和5年10月31日（月） 午後2時00分 開会

2 開催場所 ハートフルかすが

3 出席者 (委員)

北川博巳	会長	大野亮祐	副会長
佐野卓也	委員	竹内和重	委員
蘆田長門	委員	小松忠重	委員
中西克之	委員	石田光	委員
畑敏幸	委員	井上栄純	委員
岡田勝	委員[代理出席]	稲畑達次	委員[代理出席]
吉見和幸	委員	長田貴	委員
和田綱木	委員	清水徳幸	委員

委員16名出席

(オブザーバー)

新田 博史 (兵庫県交通政策課副課長)  
大木 玲子 (丹波市商工会参事)

4 欠席者 水田節男 委員  
谷和義 委員

## 5 会議に付した議題及び案件とその内容

### 1) 開 会

### 2) 会長あいさつ

### 3) 議 事

- ①デマンドタクシーの利用状況について
- ②デマンドタクシー利用者及び従事者への感謝状贈呈について
- ③デマンドタクシー運行システムの更新について
- ④路線バスの利用状況について
- ⑤鉄道の利用状況について
- ⑥バス路線再編に係る社会実験について
- ⑦公共交通の福祉施策について
- ⑧その他

### 4) 閉 会

(事務局)

ただ今から、令和5年度第2回丹波市地域公共交通活性化協議会・丹波市地域公共交通会議を開催させていただきます。

本日、委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

#### [代理出席、欠席委員の報告]

#### [事務局より配布資料の確認]

〈事前配布資料〉

- ・ 会議次第
- ・ デマンドタクシー関連資料
- ・ 路線バス運行社会実験関連資料
- ・ 公共交通の福祉施策について

〈当日配布資料〉

- ・ 令和5年度JR加古川線利用促進の取組について（報告）
- ・ 丹波市地域公共交通計画抜粋資料
- ・ デマンドタクシー年末年始お休みのお知らせ

本日の会議記録作成のため録音させていただきますので、ご了承願います。

それでは以降の進行につきましては、北川会長にお渡しいたしますので、よろしくお願いたします。

(会長)

皆さん、こんにちは。本日もよろしくお願いいたします。

私は授業で、高齢化の問題や人口の問題などを講義している立場にあります。これからかなり高齢化率は高いままで、デマンドタクシーや公共交通を必要とする方の割合が増えてくる世の中になっているのをひしひしと感じております。

この会議の中であるような、一つの解決策が交通のDX化（デジタルトランスフォーメーション）と言われていますが、再編もDXもそうですが、様々なことを考えていかなければいけない年代に差し掛かってきたと感じております。とはいえ、地域の中ではいろいろな動きもあります。今回は特にバスの利用の話や再編の話など話題に出ってきますので、将来を見据えながら議論を展開できればと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

では、デマンドタクシーの利用状況について、年末年始の話も含め事務局から説明よろしくお願いたします。

#### [①デマンドタクシーの利用状況について説明]

(資料別紙1)

(会長)

ただいまのデマンドタクシーの利用状況について、何かご質問やご意見などございますか。

(質問・意見等なし)

私の方から一点確認しておきたいことがございます。利用水準はかなり戻ってきていると思います。特にこれからの10月、11月は行事が多い時期だと思いますのでコロナ前の数字に近づくのではないかと少し期待をしております。1時間あたりで50名を超える時が3回ありました。8月4日金曜日11時便53名の利用がありましたが、この人数の対応については可能だったかどうか

か、トラブルなどなかったかどうかそのあたりを確認させてください。

(事務局)

特に問題なく運行をしております。

(会長)

一時期はギリギリなところまでいきかけたことがありました。特に利用者の多い10時便のあたりのことについては引き続きデマンド会さんから報告もしていただければと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

そして、年末年始の運行について今年は決まりと違って1月5日に運行していただきます。デマンド会さんご協力ありがとうございます。年末年始や運休日などデマンドタクシー運行のお休みが続き5日のみとなりますので、金融機関や病院、買い物などさまざまなご利用があるかと思われるので、運行のご協力をお願いいたします。

その他、何かご質問やご意見などございますか。

(質問・意見等なし)

それでは続きまして、デマンドタクシー利用者への感謝状贈呈についてです。事務局から説明をお願いいたします。

#### 〔②デマンドタクシー利用者及び従事者への感謝状贈呈について〕

(資料別紙2)

(会長)

デマンドタクシー利用者及び従事者への感謝状贈呈について、何かご質問やご意見などございますか。

(質問・意見等なし)

今回は利用者の方6名、勤務者の方1名それぞれ表彰をさせていただきたいと思います。

1,000回これだけの数を利用いただいているということは表彰に値する方々だと思いますので、しっかりと表彰をお願いいたします。表彰については、昨年度同様、郵送での表彰となります。

それでは続きまして、デマンドタクシー運行システムの更新について、事務局から説明をお願いいたします。

#### 〔③デマンドタクシー運行システムの更新について〕

(資料別紙3)

(会長)

デマンドタクシー運行システムの更新について、何かご質問やご意見などございますか。

(委員)

スマホで予約をした際に、予約完了の通知が利用者さんに届くのどのくらいの時間を要するのでしょうか。

(事務局)

ほぼ、即時予約が可能になるかと思えます。ごく稀に予約が集中して、乗車が出来ない場合は“この時間帯の予約は受付できません”といった表示になります。そして、ご希望の近い予約可能な時間をご案内する機能がついております。

(会長)

その他、質問などございますか。

(質問・意見等なし)

令和6年3月からシステムの導入が始まります。新しいシステムの導入ですが、デマンドタクシーの運行については現状とそれほど大きくは変わらないと思います。例えば、オペレーターやドライバーの表示画面は変わりますが、おおもとは現在と変わりません。現在と同様の旧町単位の運行は変わりないですし、電話での予約もできます。ですが、スマホやパソコンから予約することもできるので、徐々にDX化を進めていければと思っております。

変わることに关しては、この公共交通活性化協議会にて報告をいただき議論等々をしながら、進めていく話になるかと思っておりますので、皆さんよろしくお願ひいたします。

それでは続きまして、路線バスの利用状況について、事務局から説明をお願ひいたします。

#### 〔④路線バスの利用状況について〕

(会長)

路線バスの利用状況について何かご質問やご意見などございますか。

(質問・意見等なし)

続いて、バス運行事業者さんからお願ひします。

(委員)

山南中学校の登校に关して、坂尻線で約40名、草部線で約55名が現状利用です。運行当初は余裕をもって大型バス2台で運行をしておりましたが、人員調査を実施し、現状の利用数の把握ができました。坂尻線については中型、草部線は大型バスに変更し、運行をしております。

大名草線については、立席運行になることもありますが、こちらは中型バスで運行をしております。大名草⇄佐治間の利用は7名前後と以前より少し利用数が減っています。その要因としては、昨年度の利用者の中に高校3年生が多かったことが考えられます。

佐治発の始発については10名前後の利用者で、運行開始当初と比べ増加傾向にあります。

野瀬線については、小学生の乗車が3名から5名に増えています。

(会長)

小学校の統廃合がここ2年くらいは丹波市の主要事項となっており、バスの再編や実験などについて、今後繰り返されると思っております。

先ほどの委員からの話の中に、山南中学校の話がありましたが、利用者については好調なのではないかと思っております。

通学手段に路線バスが定着してきそうだと感じておりますので、何かお気づきことや改良のポイント等ありましたら、ご意見ください。

それでは続きまして、鉄道の利用状況について、事務局から説明をお願ひいたします。

#### 〔⑤鉄道の利用状況について〕

(当日配布資料：令和5年度JR加古川線利用促進の取組について(報告))

(会長)

かなりたくさんの方々の事業を関連機関と連携しながら実施しているのが手に取るようにわかりました。鉄道の利用状況について何かご質問やご意見などございますか。

(オブザーバー)

地域や自治体の方々と今回の加古川線の取り組みの一斉乗車デーや久下村夜市に参加させてい

いただきました。加古川線はいろいろと厳しい状況にありますが、沿線の方々に利用していただくことが世間へのPRにつながると考えております。

今回の乗車デーや久下村夜市に参加された地域の方々のご意見を聞かせていただきました。今後もこういった電車に乗るといったスキームづくりを進めていくことが大事になってくると思いますので、引き続き地域の皆さまのご協力を得ながら一緒にやっていきたいと考えておりますので、今後の事業へのご協力をお願いいたします。

(会長)

駅周辺の活性化はすごく大事な話になりますので、丹波市単独でももっと盛り上げていく必要があると思います。こういったことを機に、みんなで考えていくということはすごく大切なことです。

加古川線ですので、加古川市との間を取り持つような役割を県には期待したいと思っておりますので、ぜひよろしくをお願いいたします。

その他、ご質問やご意見などございますか。

(質問・意見等なし)

本日の今までの議題は報告事項でしたが、次はバス路線再編の社会実験についてです。今年3月、皆様にご協力いただき「丹波市地域公共交通計画」を策定しました。この計画に基づいて本年度以降、5ヶ年でこの計画に記載されている事業に順次取り組んでいくこととなっています。

先ほど、事務局よりありましたデマンドタクシーの予約システムの更新についても「生活交通の維持・充実」「公共交通のDX導入に向けた取り組みの強化」という計画記載の事業に基づいた取り組みのひとつです。

今回、委員の皆様にご協議していただきたい事項として「バス路線の再編」がございます。本日「丹波市地域公共交通計画」に記載されている箇所1枚ものの抜粋資料を、机にお配りしているかと思っております。

計画には、『施策の方向性1-1「基幹交通ネットワークの確保・維持」』に対応する事業として「事業1-1-2バス路線の再編」が記載されています。

ここには、事業内容の所に『市中心部への移動需要に応える路線の再編や、学校統合に伴う遠距離通学者の路線バス利用により、路線の充実を図ります。特にバス路線がまだ走っていない地域に対して、実証実験による需要調査を踏まえて路線の新設、延伸等に取り組んでいきます。』と記載されています。

前回6月の第1回活性化協議会の際にも、社会実験を実施するという方向性で委員の皆様にご承認いただいておりますが、今回はその実験の具体的な内容について提案させていただきたいと思っております。

それでは、バス路線再編に係る社会実験について事務局から説明をお願いいたします。

#### 〔⑥バス路線再編に係る社会実験について〕

(資料 4-1～4-7)

(会長)

難しい話だったのではないかと思います。私から補足をさせていただきます。資料4-1の3ページを開いてください。昨年度の最終の活性化協議会にて、今後の学校の統廃合があった場合、公共交通を利用した遠距離通学手段として路線バスを提案するということが活性化協議会の方向性であることを確認しました。そして、今年度の社会実験では市島周辺地域を中心に医療センターへの移動手段の研究について、学校統廃合における遠距離通学児童・生徒への公共交通による通学支援、社会実験を継続して実施していきましょうといったことも承諾していただきました。

昨年の12月に社会実験を実施しましたが、本格運行には至らないという結果となりました。この結果を糧とし、これからの社会実験を実施したいといった経緯です。

今回の社会実験は3つのポイントがあります。1つ目が、これからの小学校の統廃合の際は、通学手段を路線バスにするにはどうすればいいのか突き詰める。車に乗らない、乗れない方の移

動手段を強化しようといったまちづくりと連携したようなこと。2つ目が、野瀬線の活性化についてです。3つ目が、市島周辺地域から医療センターへ直行で行けるようにしようといったことです。この3つを一気にしようすると、今回の社会実験の形になります。

社会実験の運行ダイヤについては、事務局でかなり考えていただいたと思います。中学生・高校生が通学するときなども踏まえながら、医療センターへのアクセス等も考えるとこういったダイヤ編成になります。

この活性化協議会で資料4-7にあるように協議を整えたいです。路線、停留所、実施の期間、運行時間、路線の休止についての協議です。

協議の項目について、資料4-1の4ページを開いてください。社会実験を実施するにあたり今回新設の運行ルートが適正かどうか。運行ルートに停留所の新設が必要となりますので、新設する停留所が適正なのかどうか。そして、社会実験ルート(赤)についてもルートが適正かどうか、既存運行区間(黄)についてはダイヤの改正ということです。

何かお気づきのことや、ご意見等ありましたらお願いします。

### (質問・意見等なし)

11月で社会実験の案がこの段階になっているということは、かなり重要な社会実験という位置づけだと考えられます。これから5か月かけて調整をしていきたいと考えております。

### (委員)

前回の令和4年度の社会実験の時は、冬の時期の約2か月でしたが、今度の社会実験は4か月で時期的には春から初夏ですが、社会実験の期間を設定する際に夏や冬などの四季について考えられたことはありますか。

### (事務局)

前は真冬の12月、1月に実施しました。寒い時期で移動が少ないこともあり、今回は同時期ではなく正反対の時期に実施させていただくことにしました。4月～7月ということで、1学期間の通学支援をイメージしております。この期間に中高生にも社会実験に参加していただくことで、小学生以外の通学移動需要をしっかりと検証していきたいと考えております。社会実験に参加していただく以上、1学期の途中で社会実験が終了してしまうと、中高生にとっても中途半端な状態になってしまうことが考えられますので、1学期間しっかりと路線バスをご利用いただき便利であるかどうかを感じていただければと思っております。

### (会長)

その他、質問やご意見などございますか。

もちろん、実施していく中で修正等をし、進めていければと考えております。

### (事務局)

今回の協議でご承認いただけましたら、社会実験についてはルート・時刻は記載の通りさせていただきたいと考えております。協議終了後から社会実験までの期間に、軽微な修正等がありましたら会長と協議させていただきたいと思っております。

先ほどの補足になりますが、運行ルートについてはあらかじめ、ウイング神姫にご相談・ご協力いただき決定しており、丹波警察交通課にも伺い協議済みであることをお伝えさせていただきます。

### (会長)

関係箇所との協議については出来ているということですね。

運輸管理部に書類の提出が必要となりますので、承認いただいたということによりよろしいでしょうか。

### (異議なし)



## 【バス路線再編に係る社会実験については承認された。】

なにより、ウイング神姫さんにご協力が不可欠となりますので、ぜひともよろしく願いいたします。

実験を重ね大事なものであるという点を客観的にみていくということが社会実験の趣旨になってくるかと思えます。

それでは、社会実験についてご提案いただいた内容に指摘事項等が無かったので、活性化協議会社会実験案としてまとめます。資料4-7「道路運送法に基づく協議という証明書」として出させていただきます。

バス路線の様々な課題を解決するためには、路線再編が必要になります。この社会実験を経て、遅くとも令和8年4月には路線再編を実現できればと思います。

それでは、公共交通の福祉施策について事務局から説明をお願いいたします。

### 〔⑦公共交通の福祉施策について〕

(資料5)

(会長)

先般、福祉部会が開催され、ご報告いただいた内容について承認がされております。

福祉交通については、データがかなり揃ってきました。運行開始時間を早めること、利用料を値上げすること、日曜の運行を開始すること、通院用と社会的交流・買い物用の利用券区分の見直ししたことといったことについてデータを基に見直ししましたというご報告でした。介護保険課については、現状を見直しながら進めていきますということで承認したといった経緯がございます。福祉施策については協議事項ではなく報告事項です。

公共交通の福祉施策についてについて何かご質問やご意見などございますか。

(委員)

バス・デマンド(予約)型乗合タクシー・タクシー共通券についてですが、使用期限は設定されているのでしょうか。

(事務局)

年度ごとの使用と定めております。今年度であれば年度末の令和6年3月31日まで使用が可能です。

(委員)

年度末までに使用されていない利用券については、無効になるということですか。

(事務局)

その通りです。

(会長)

年度末に駆け込み利用がよくあります。

その他、質問やご意見などございますか。

(質問・意見等なし)

それでは、本日の議事が整いました。特に、社会実験は今後調整していくということですので、事務局の方々は一生涯懸命頑張ってくださいますようお願いいたします。また、その都度何かありましたら、協議ということをお願いいたします。

最後に、その他です、次回の開催日など事務局からお願いいたします。

## 〔⑧その他〕

(事務局)

次回の会議開催日についてですが、例年通り2月末頃に第3回目の会議を開催予定しております。会長とご相談のうえになりますが、随時委員の皆さんにご連絡させていただきます。

(委員)

平素よりデマンドタクシーの運行にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

本日も、デマンドタクシーの利用状況について事務局より説明があった通りでございます。その中で、委員の皆さんに1点ご報告があります。デマンドタクシーは現在6社、13台の車両で運行しています。運行に対する費用のことについて、私たちを取り巻く経営状況が難しい状況です。乗務員の不足、燃料費の高騰、車両修繕等があり、現在いただいている運行費が採算といった論点からみると、かなり厳しい状態です。そんな状況の中で、事務局より運行費の改定の提案が先日ございました。この提案について、デマンド会加盟6社で話し合いを重ね、一部の企業は強硬な意見はありますが、何とか妥協点を見つけ合意いたしたいと思っている次第です。

(会長)

かねてよりこの件について、デマンド会より要請がありましたので、何とか合意に向けてお願いいたします。事務局よりこの件について何かございますか。

(事務局)

この件については、予算の時期ということもあり、デマンド会との協議を続けております。事務局としてできる限りの部分で提案をしている内容で、今後も協議させていただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

(委員)

先日の丹波新聞にデマンドタクシーについての投書が掲載されておりました。実態はどうかかわからないですが、内容としてはICOCAのカード利用と予約時のトラブルです。これらの問題に対する解決策や、或いはこういったことが起こっている実態を掴めていたのか、投書が出て初めてわかったのか、その辺りのことについてご説明をお願いします。

(事務局)

先ほど委員さんからあったように、先日の丹波新聞にデマンドタクシー利用料をICOCAでの支払いをご希望の方に対し、運転手が使いがわからなくICOCAでの支払いができなく、今後使えるようにしてほしいといったお声が掲載されていました。

この件について、当日運行していただいていた運転手の方は臨時の方ということもあり、使い方がわからなかったとデマンド予約センターから聞いております。ただ、臨時のドライバーであったとしても、利用者さんからすれば当然、ICカード支払いが利用できるものと思ってデマンドタクシーを利用されている訳ですから、支払いのご利用希望に応えられるよう、対応していただきたいと考えております。

また、今回はご利用いただく方からのご意見が新聞からで、事務局としてもこの件に対しては新聞を通して初めて把握した次第でございます。

他の日常のご意見等は、デマンドセンターからの日報で毎日確認をしております。中には、苦情やご意見等もいただきますので、その際は事務局から直接利用者の方にご連絡をとり、説明をさせていただくこともございます。できるだけ、利用者のご希望に添えるようにしたいと思っております。デマンドタクシーの運行のルール上、100%ご要望にお応えできることはないですが、出来るだけ丁寧に運行について説明をするようにと考えております。

(委員)

新聞に掲載された件について、今初めて知りましたので、具体的にはどうなのかといったことは、中々言いにくいですが、ただ言えることは相手が機械ではなく、人対人が大前提の話ですね。

(会長)

起こったことに対して、どのように処理するかですね。事務局から委員さんに経緯をお話して、アドバイスをいただければと思います。大事な話です。

その他、質問やご意見や情報提供などございますか。

(委員)

デマンドタクシーの運行費の話が出ましたが、タクシーの運賃改定を申請しました。11月20日には新運賃になります。だいたい、現行運賃より15%増の料金になってくると思います。その運賃に恥じないように、デマンド会、タクシー協会も頑張っていきたいと思いますので、皆さんご協力をよろしくお願い致します。

(会長)

いろいろと変化が見えてきていますので、なるべく情報交換がまめに出来るようにしたいと思いますので、皆さんぜひよろしくお願い致します。

(委員)

運賃値上げに関して、皆さんに告知したいと考えており丹波新聞に掲載をお願いしております。駅と市役所などにも貼らせていただくようお願いをしております。

(副会長)

本日は第2回協議会ということで、平日のなにかとお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。また、慎重に議論いただき、たくさんのご意見を頂戴しありがとうございました。

これから冬に向かって寒くなります。お体には十分にご自愛いただき、各方面でご活躍いただきたいと思います。

本日は長時間にわたりありがとうございました。気をつけてお帰りください。